

第2回伊勢原市男女共同参画推進委員会 会議録

〔事務局〕 人権・広聴相談課

〔開催日時〕 令和4年10月27日（木曜日）午後7時～午後9時

〔開催場所〕 伊勢原市役所 3階 3A会議室

〔出席者〕

（委員） 和田委員長、紫牟田副委員長、渡辺委員、吉田委員、亀井委員、石委員、片伯部委員、臼井委員、小林委員 9名

（事務局） 人権・広聴相談課長、ほか2名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

〔配付資料〕

資料1 令和4年度いせはら男女共同参画フォーラムについて

資料2 令和4年度いせはら男女共同参画フォーラム講師候補者

資料3 講師プロフィール案

資料4 令和4年度いせはら男女共同参画フォーラム準備スケジュール

資料5 令和4年度いせはら男女共同参画フォーラム開催要項（案）

資料6 チラシ案

資料7 周知方法及び周知先一覧表

<資料番号なし>

男女共同参画社会を考える情報誌ききょうフォーラム通信第63号

《審議の経過》

1 議事

(1) 令和4年度いせはら男女共同参画フォーラムについて

ア 講師の選定について

・事務局より、資料1～3を用いて講師選定の経過について、説明した。

イ 今後のスケジュールについて

・事務局より、資料4を用いて今後のスケジュールについて、説明した。

ウ 開催要項について

・事務局より、資料5を用いて開催要項について、説明した。

・講師打ち合わせについて、委員長及び企画部会長の日程を確認し、講師と調整することとした。

・講師打ち合わせは、日程が決まり次第全委員へ周知し、参加可能な委員を募るこ

ととした。

- ・テーマ、講師に対する要望は、事務局案で進める方向となった。打ち合わせに参加可能な場合、その場でお話いただくことも可能であることを確認した。

エ チラシ案について

- ・事務局より、資料6を用いてチラシ案について、説明した。
- ・デザインについて、渡辺委員によって、修正いただくこととなった。
- ・事務局より、講師との打ち合わせ時に肩書や紹介文等を確認する予定であることを報告した。
- ・原稿については、メールにて再度委員へ確認いただくこととなった。
- ・色上質紙に印刷することができないか、事務局にて検討することとなった。

オ 周知方法及び周知先について

- ・事務局より、資料7を用いて周知方法及び周知先について、説明した。
- ・ポスターについて、小・中学校の配布枚数を見直すこととした。また、駅の自由通路に掲示してもらえよう、観光協会を追加することとした。
- ・近隣市の男女共同参画部局へも周知することとした。

(2) 第1回勉強会「LGBTQについて」

- ・和田委員長が準備したパワーポイントを使用して、委員の意見交換を行った。

(3) その他

- ・案件なし

※主な意見・質疑の内容は別紙のとおり

以上

議題（１）令和４年度いせはら男女共同参画フォーラムについて

ア 講師の選定について

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	<p>アートを視点とした企画は、先の男女共同参画推進委員会計画調整会議の中でも話題となり、興味深い内容で非常に楽しみである。</p> <p>市民に対して、どのようなメッセージを最終的に落とす流れを想定して選定したのか。</p>	<p>計画調整会議での話題をきっかけに、様々な文献を見ていたところ、浅野氏のコラムを見つけた。</p> <p>知り合いのアーティストに声をかけてもらい、講座等に参加してもらえないかということを見据えている。</p> <p>最終的に市民へどのように還元されるかは、これからの打ち合わせの中で竹田氏と調整しつつ、挑戦していきたい。</p>

ウ 開催要項について

【主な意見】

<p>●講演内容に関して、基本的には、講師の話したいように話してもらう形で良いのではないかと思う。</p> <p>歴史的な背景を話しながら、近年では女性が台頭できるような環境になってきているのかどうか、という内容であっても良いだろうし、女性の若手の芸術家が増えているのかということや推進している団体が増えているのかということ、行政が取り組んでいることなど、事例のようなものがあれば、紹介していただくという内容でも良いと思う。</p>

エ チラシ案について

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	<p>紹介文にて、「芸術家」や「男性作家」という表現があるが、どのように使い分けをしているか。</p>	<p>「男性作家」の部分は、竹田氏の研究から引用している。「芸術家」は、アートがテーマとなることから使用した。</p> <p>講師と調整し、分かりやすく表現できるようにしていきたい。</p>

【主な意見】

<p>●チラシを目立つようにしたいので、色上質紙に印刷することができないか。</p>

オ 周知方法及び周知先について

【主な意見】

●小・中学校は、12月に保護者が学校へ来る機会があるので、何ヶ所か貼れるように枚数を増やしてほしい。
●駅は人通りが多いと思うので、自由通路に貼ってもらえるようにしてもらいたい。
●近隣市の男女共同参画推進委員会のような団体に周知することはできないか。来てもらったことをきっかけに、交流するきっかけとなると良いと思う。

議題（2）第1回勉強会「LGBTQについて」

【主な意見】

「LGBTQの問題や自分との関わり、最近感じたこと」

●身近に感じる事がまだなく、自分自身でも分かっていないことが多い。子どもがいるので、今後、子どもがどう成長していくかにもよるが、対応の方法などについて、知識をつけていけると良いと思う。
●青年会議所のイベントで、新宿二丁目で活動している当事者の人をお呼びして、講演してもらったことがあった。悩みを抱えている人は、精神疾患になる方が多いようで、もどかしく感じている。
●以前勤めていた会社は、いろいろな人種やジェンダーの人がいて、素直に受け入れられていると感じる。グローバルな感覚になれば、当たり前の世界になるのではないか。
●上司に外国人のゲイの人がいて、若いころに親の理解が得られず、つらかったという話を聞いた。今は、パートナーと一緒に住んでいて、自宅に訪問したこともあるが、自然な形だと感じた。性自認に関わらず、パートナーと生活していける環境になると良いと思う。
●仕事で大学生と関わりがあるが、かなり苦しんでいる学生は多い。大学に相談室があって、相談を受け付けている。一人ひとりがどう生きたら、一番幸せでその人らしいかと考えていくことが、日本はまだまだ遅れていると思う。
●現在進行形で、会社で労務問題になりかけている。入社したときは問題のなかった男性が、男性相手にセクハラのような問題行動を起こしてしまっている。今後も起こりうる問題があると認識して対処している。
●小学校では、相談を受け付けることもある。主張が本当なのか、いろいろな情報に影響を受けた思い込みではないか、判断が難しい。どうしたら、その子が幸せに過ごせるか、検討している。着替えやトイレなど、合理的配慮が施設・設備として、なかなか難しい。
●50年ほど前に学生だったとき、同級生でスカートがはけない、言葉づかいの変わった女の子がいた。今にして思うと、そういうことだったのかと思う。また、周りの理解が浅はかだったと思った。

【主な意見】

「子どものうちは、どこまでサポートやフォローをしたら良いか」

●手術には、保護者の同意があればできるものもある。手術後に戻りたいという話もよく聞く。慎重に進めていく必要がある。本人を尊重しつつ、自分で責任が取れる、お金の支払いができるようになってから手術するといったように、話し合いをしていけると良いのではないかと思います。

●思春期外来はあるが、とても混みあっていて、数ヶ月待ちという状況であるようだ。気軽に相談のできる場所や人がいると良いと思う。

●「教育」と付くと、学校で教えてほしいという流れになっている。本来であれば、家庭や保護者が教えることであると思うことが多い。学校現場は疲弊しているので、「教育=学校」という流れを変えられると良い。

●親から教えるにしても、父・母・子それぞれの性格を考えると、タイミングやどこまでオープンに話していいのかが悩んでしまう。学校だけでなく、男女共同参画推進委員会など、何かきっかけとなるようなことがあると良い。親世代に向けた発信ができると良いと思う。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	「伊勢原市パートナーシップ宣誓制度(案)」について、パブリックコメントをしていたと思うが、反応はどうだったか。	6件の意見があり、4件が賛成、2件が反対であった。 理解が進んでいるとは言えないかと思うので、啓発を進めていきたい。